泉大津市社会教育委員会議

■第2回会議の議事概要

日　　時：令和３年１１月２２日（月）１３時00分～１４時５０分
場　　所：泉大津市役所3階大会議室
出　　席：車谷委員、木野委員、井上委員、岡崎委員、冨山委員、祐仙委員
会議の公開　　公開
傍聴者　　４人

議　題
１．社会教育関係団体補助金について
２．（仮称）泉大津市教育施設再配置計画について
報　告
①　泉大津市立図書館シープラの開館について
②　文化芸術振興計画策定に係る進捗状況について
③　大学連携事業について
④　学校体育施設の予約システム導入及びスポーツ施設予約システムの更新について

その他
①　仲良し学級について
②　泉大津市体育協会の名称変更及び第７５回市民体育祭について

議事概要
議題
１．社会教育関係団体補助金について
《議事進行》
・事務局より社会教育関係団体補助金について説明。
《主な意見等の内容》
質問・意見等、特になし。
２．（仮称）泉大津市教育施設再配置計画について
《議事進行》
・事務局より（仮称）泉大津市教育施設再配置計画について、説明した後に質疑、意見交換をおこなった。
《主な意見等の内容》
井上委員：自然災害を含めてこれからの施設のあり方・使い方をどのように考えるか。
岡崎委員：これから計画策定をしていくにあたって、論議を深めていくための、今日がキックオフとしてはよいのではないか。

少子化の影響が大きい。人を相手にする施策であれば、その対象規模が変わればサービスの規模も変わるのは当然である。少子化により施設規模を減らすことにつながると思うが、単純に床面積を減らせばよいわけではなく、質の問題も考えなければならない。世代間で志向性が変わってきており、30 年前の施設をそのまま使っていいものかどうか。アンケート結果でも、そもそも施設が何をやってるか分からないとあるが、市民の志向性と合ってないということ。市民の志向性が多様化し、そこに対して行政がどうアジャストしていくのか。市民の意見を聞き取り、どれが最も適切なサービスなのかを考えながら次のプランを立てていくことが必要。具体的には、例えば学校の校舎建て替えと重なるのであれば、防災の視点を踏まえた整備も考えられ、またオンラインで申し込めるシステムを導入するかなど、これまで行ってこなかった新しい取り組みを模索するべきだ。こういった議論を始めるのはいいことだと思う。

新学習指導要領について、幼稚園から高等学校までに共通するキーワードとして「社会に開かれた教育課程」がある。学校が囲われた別物では成り立たないということを宣言しているもの。地域が学校のゲストスピーカーとして、または子どもが本物に触れるために地域に出ていくなど、地域と学校が相互乗り入れをすることを、法的にも求められているし、国が示しているもの。

もう一つのキーワードとして、「持続可能」。今後それが続けていけるのかという問いかけが学校教育ですら求められている。古い体質で次の世代に引き継げるのかといえば、それは無理で、その次の世代をどう育てていくか、また校舎やシステムなどを都度変えていくということが必要だと考える。財政的な課題はあるがお金がないというネガティブな視点ではなく、新しい時代にあった新しいまちをつくり上げていくという観点で、この計画は積極的に捉えることができるのではないか。

冨山委員：スポーツ施設は対象ではないと考えてよいか。

事 務 局：対象ではない。

冨山委員：アンケートでは、どんなことをやっているか知らない・わからないとあるが、行かない人に理由を聞いてもわからない。

この計画を考えていくに、民間事業者の活用を考えているのか。持続可能性の視点は重要で、それを考えるとビジネス参入も考えられるのではないか。お金がないなら稼げばよいという視点。なんでもかんでもお金を取るということではないが、教育という観点と収益のバランスをどうとるかを考えていく必要がある。

学校を開くと事件が起きてまた閉じるという歴史が繰り返されている。安全対策を組みながら、人が集う仕組みができればよい。

祐仙委員：興味がなければ知ろうとしないので、忙しい人などが施設がどこにあるかも知らないというのは当然。施設に呼び込む工夫が必要。

使用料が無料であれば財政に負担となるが、ケースバイケースであると思う。受益者負担を考えることが大事なのでは。

エレベーターがないのは高齢者には負担。学校開放の集客もＰＲして若年層を巻き込むことが重要ではないか。

木野委員：「使いたいとも思わない」が６割以上いる状況であれば、集約もありなのでは。一方、防災拠点という視点での整備は重要で、地域のあっちこっちにあった方がよい。受益者負担の必要性が利用者の意見として上がっているのはいいこと。ただし、受益者負担額のバランスが重要。

報告

①泉大津市立図書館シープラの開館について

《議事進行》

・事務局より泉大津市立図書館シープラの開館について、資料説明した後に質疑、意見交換をおこなった。

《主な意見等の内容》

祐仙委員：駐車場が3時間無料になるのは良い。

岡崎委員：ビジネス支援を打ち出しているが、他では商用データベースが有料であるのに、なぜ無料でするのか。税金で運用しているので、考え方を示してほしい。

事 務 局：まずは市民や市内の事業者が使ってほしい。他市の事業者も使用いただき、交流などを通じて、市内企業のイノベーションを生み出すことも考えられる。また市内での起業に発展することや関係人口の増加を目指している。

岡崎委員：目指す姿やビジョンを明確にした方がよい。

②文化芸術振興計画策定に係る進捗状況について

《議事進行》

・事務局より文化芸術振興計画策定に係る進捗状況について説明。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

③大学連携事業について

・それぞれ担当から今年度の事業について説明

生涯学習課生涯学習推進係・・・和歌山大学連携事業の報告

生涯学習課文化財係・・・桃山学院大学連携事業の報告

スポーツ青少年課スポーツ振興係・・・大阪体育大学連携事業の報告

・その後、各大学の委員から追加説明

④学校体育施設の予約システム導入及びスポーツ施設予約システムの更新について

《議事進行》

・事務局より学校体育施設の予約システム導入及びスポーツ施設予約システムの更新について、資料説明した後に質疑、意見交換をおこなった。

《主な意見等の内容》

冨山委員：校庭開放指導員はいなくなるということか。

事 務 局：そのとおり。

木野委員：抽選で施設予約をするということであれば、これまで年間で使用申請をしていた団体も含めて、一斉に抽選予約とするのか。

事 務 局：総合体育館と同様に優先使用の日程調整が必要かは今後検討。

木野委員：その点やシステム変更について、丁寧に説明することを求める。使用料は取るのか。

事 務 局：今後検討が必要だと考えている。また空調を整備したので、別途空調についても検討が必要と考えている。

その他

①仲良し学級について

《議事進行》

・事務局より仲良し学級について、資料説明について説明。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

②泉大津市体育協会の名称変更及び第７５回市民体育祭について

《議事進行》

・事務局より泉大津市体育協会の名称変更及び第７５回市民体育祭について説明。

《主な意見等の内容》

質問・意見等、特になし。

終了14：50